

日南トマトの販売

年度	沿革史
昭和46	露地栽培でのトマト生産が始まる
昭和47	町内の一部でハウスを導入、品種は「東光」
昭和53	雨よけハウスの導入開始、品種を「サターン」に
昭和60	トマト生産部設立
昭和62	品種を「桃太郎」に
平成2	トマト販売額が1億円を突破
平成3	共同選果場建設
平成9	台風9号による被害発生
平成11	トマト販売額が1.9億円に
平成17	豪雪によるハウス被害発生
平成20	8月に降雪被害発生
平成21	農業研修生制度を開始
平成23	トマト選果場の色別選果機を更新
平成27	トマトの品種を「桃太郎」から多収性品種の「りんか409」に
平成30	日南トマトが大山ブロッコリーに続き、野菜としては県内で二番目の地域団体商標に トマト販売額が2億円を突破



鳥取西部農業協同組合
代表理事 大塚博幸さん

ここに深く感謝申し上げます。

気象災害や全国的な栽培面積の増加による産地間競争の激化など、厳しい環境下にあっても実績を残せたことは、足腰の強い産地に成長した証しです。JA鳥取西部といたしましても、引き続き、日南トマトの販売に力を入れてまいりますので、一層のお力添えをお願いします。

日南トマトの年間販売額が初の2億円達成となりました。これもひとえに生産農家の皆さま、関係機関のご尽力の賜物と



日南トマト生産部
部長 岩田真也さん

このたびは、日南町をはじめ関係機関のご支援をいただき、日南トマト販売額が2億円を初めて突破することが出来まし

た。このことは、先人のたゆまぬ努力により築き上げられてきた産地が、今に継承され、更に発展の一途をたどっている結果だと思えます。

今後、生産部一丸となって日南トマトのブランド化に取り組んでいきますので、より一層のご支援とご協力のほど、宜しくお願いします。



平成30年度トマト出荷出発式



長年、トマト生産部を牽引され、また、農業研修生の指導者としてご尽力いただいた池田尚弘さん(74)が、平成30年12月3日急逝されました。ここに、ご逝去を悼み、謹んで哀悼の意を捧げます。

全国的な品薄といった外的要因はありますが、販売額2億円突破の最大要因は、自然災害に立ち向かい、日々の農作業に精励された生産者みなさんの手腕そのものです。このたびの快挙達成に敬意を表するとともに、本年もこうした明るい話題で紙面が飾られればと考えます。

